



報道関係各位

2012年6月13日

株式会社キッズベースキャンプ

民間学童保育「キッズベースキャンプ」ニュースリリース

小学1年生の子どもを長子に持つ母親への意識調査 仕事を持つ母親の52.0%が初めての夏休みに「不安」

「不安」に感じる割合は専業主婦と比べて2倍の開き

東京、神奈川で民間学童保育施設を17箇所運営するキッズベースキャンプは、5月下旬、小学校1年生の子どもを長子に持つ1都3県在住の母親300名を対象に、「子どもの夏休みに関する不安」、「親世代と子世代の放課後の比較」に関するインターネット調査を実施しました。

【調査概要】

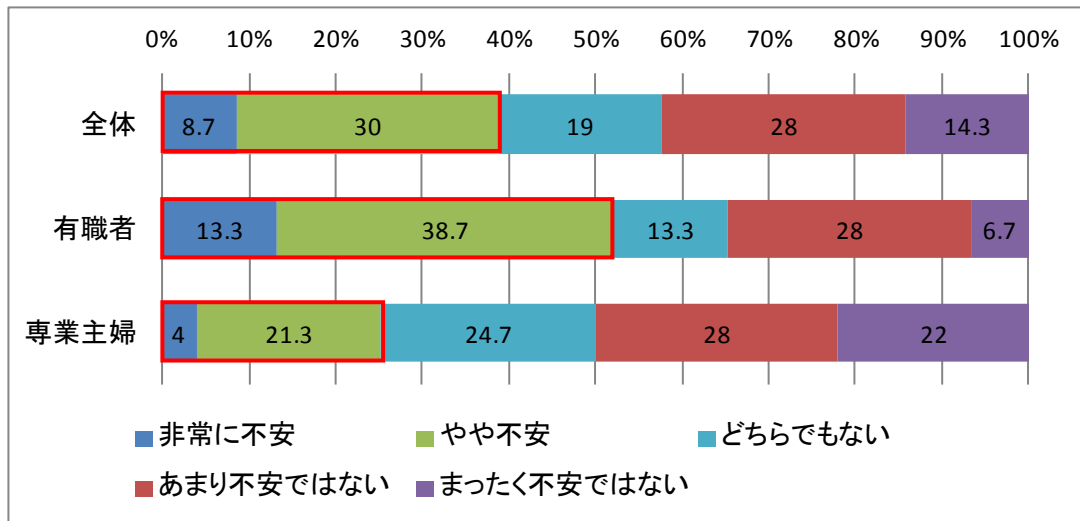
調査方法	インターネット調査
調査地域	1都3県(東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県)
調査対象	小学1年生の子どもを長子に持つ20代から40代の母親
サンプル数	合計300サンプル(有職者150サンプル、専業主婦150サンプル)
調査時期	2012年5月下旬

【調査結果のポイント】

- 有職者の半数以上が子どもの夏休みに「不安」。理由の1位は「昼食・お弁当の用意」
 - 子どもの夏休みが「非常に不安」、「やや不安」と答えた人の割合は、全体で38.7%。職業別では、専業主婦が25.3%だったのに対し、有職者は52.0%で、有職者の半数以上が不安を抱いている結果に
 - 不安に思うことの内容では、「子どもの一日のスケジュール管理」が全体で69.0%と最も多かった。一方、有職者は「昼食・お弁当の用意」が74.4%で、「子どもの一日のスケジュール管理」の61.5%を上回った
- 親世代と子世代の「放課後の過ごし方」を比較すると、様々な違いが明らかに
 - 「平日の放課後をどう過ごしていたか」を親世代と子世代で比較すると、「学童保育(公営・民間)に行く」は、31.3%増加。一方、「自宅にて弟妹と過ごす」は30.7%減少、「友達と遊ぶ」は25.6%減少。
 - 「平日の放課後の過ごし方の違い」を親世代と子世代で比較すると、親世代の方が多かったのは「同年齢・異年齢の子ども同士で遊ぶ機会」(59.3%)。子世代の方が多かったのは「ゲームやテレビなどで一人で過ごす時間」(55%)、「習い事の時間」(47.3%)だった
 - 子どもや大人とのコミュニケーションを通して親が子どもに学んで欲しいこととしては、「コミュニケーション能力(協調性・傾聴力・自己表現力)」(92.0%)、「社会ルールやマナー」(86.7%)、「思いやり」(85.7%)が最も多く、続いて「危険管理能力」(77%)、「けんかの仕方や仲直りの仕方」(76.7%)、「ゲームやテレビではなく、様々な遊びを知る機会」(68.7%)だった

子どもの夏休みに関する不安

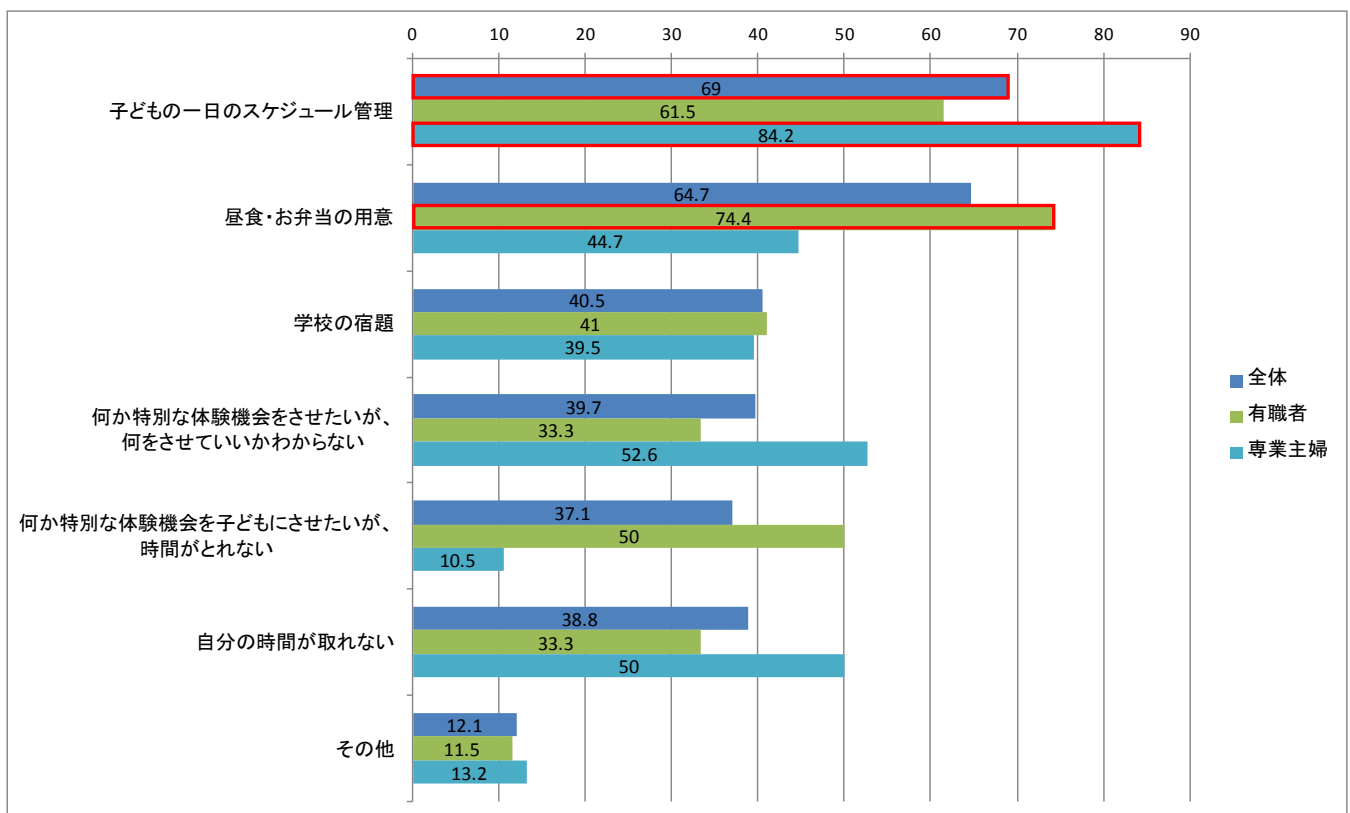
Q1.もうすぐお子様の夏休みですが、不安はありますか？



夏休みに不安があるかについて、「非常に不安」、「やや不安」と答えた人は全体の 38.7%でした。職業別では、有職者は52.0%、専業主婦は25.3%が「非常に不安」、「やや不安」を選択しており、有職者の方が不安に感じている割合が高いことが明らかになりました。

Q2.お子様の夏休みについて不安な内容を教えてください

(n=116 Q1で「非常に不安」、「やや不安」と答えた方のみ。複数回答可)

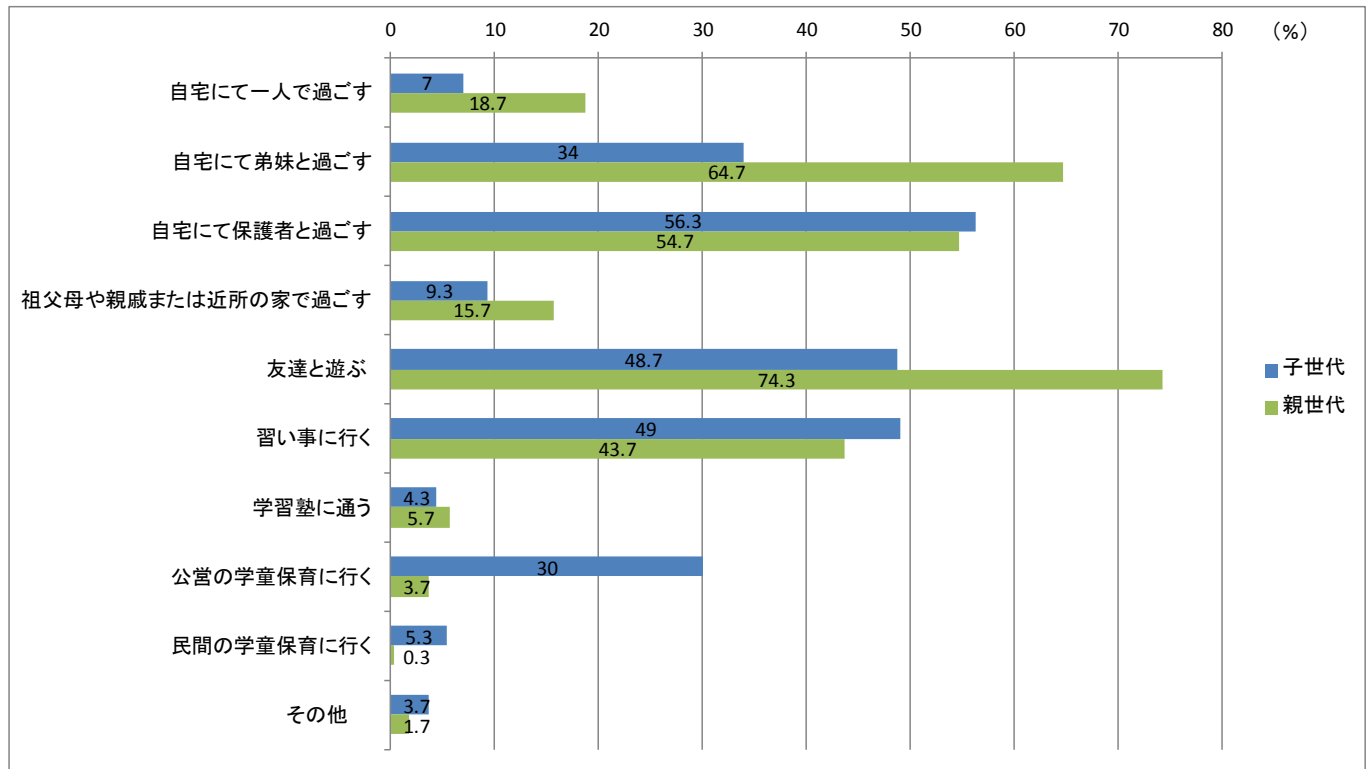


子どもの夏休みが「非常に不安」、「やや不安」と回答した母親116名にその内容を尋ねてみると、全体の69%が「子どものスケジュール管理」を挙げました。職業別では、専業主婦が最も不安に感じていることは「子どもの一日のスケジュール管理」(84.2%)だったのに対し、有職者は「昼食、お弁当の用意」(74.4%)と答えています。

また、自由回答では、「習い事が休みになるとどう過ごさせたらよいか分からない」(会社員・会社役員)、「毎日学童保育に通わせることを本人が不満と思わないか」(会社員・会社役員)、「仕事が制限されてしまうかもしれない」(パート・アルバイト)といった意見が寄せられました。

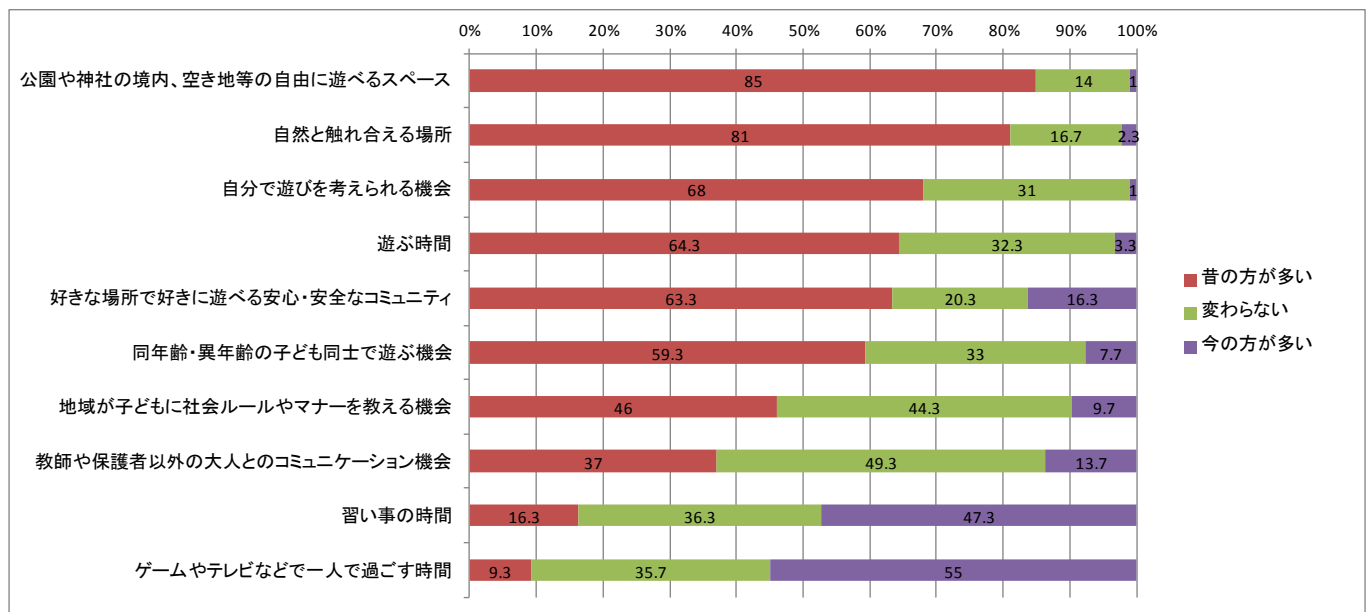
親世代と子世代の放課後の比較

Q3.お子様は平日の放課後をどう過ごしていますか？また、あなたが小学校 1 年生の頃、平日の放課後をどう過ごしていましたか？(複数回答可)



平日の放課後の過ごし方を親世代と子世代で比較すると、子世代の方が多い項目は「学童保育に行く」で、親世代と比べると公営・民間合わせて 31.3%増加しています。また、子世代の方が少ない項目は「自宅にて弟妹と過ごす」が 30.7%減少、「友達と遊ぶ」が 25.6%減少でした。

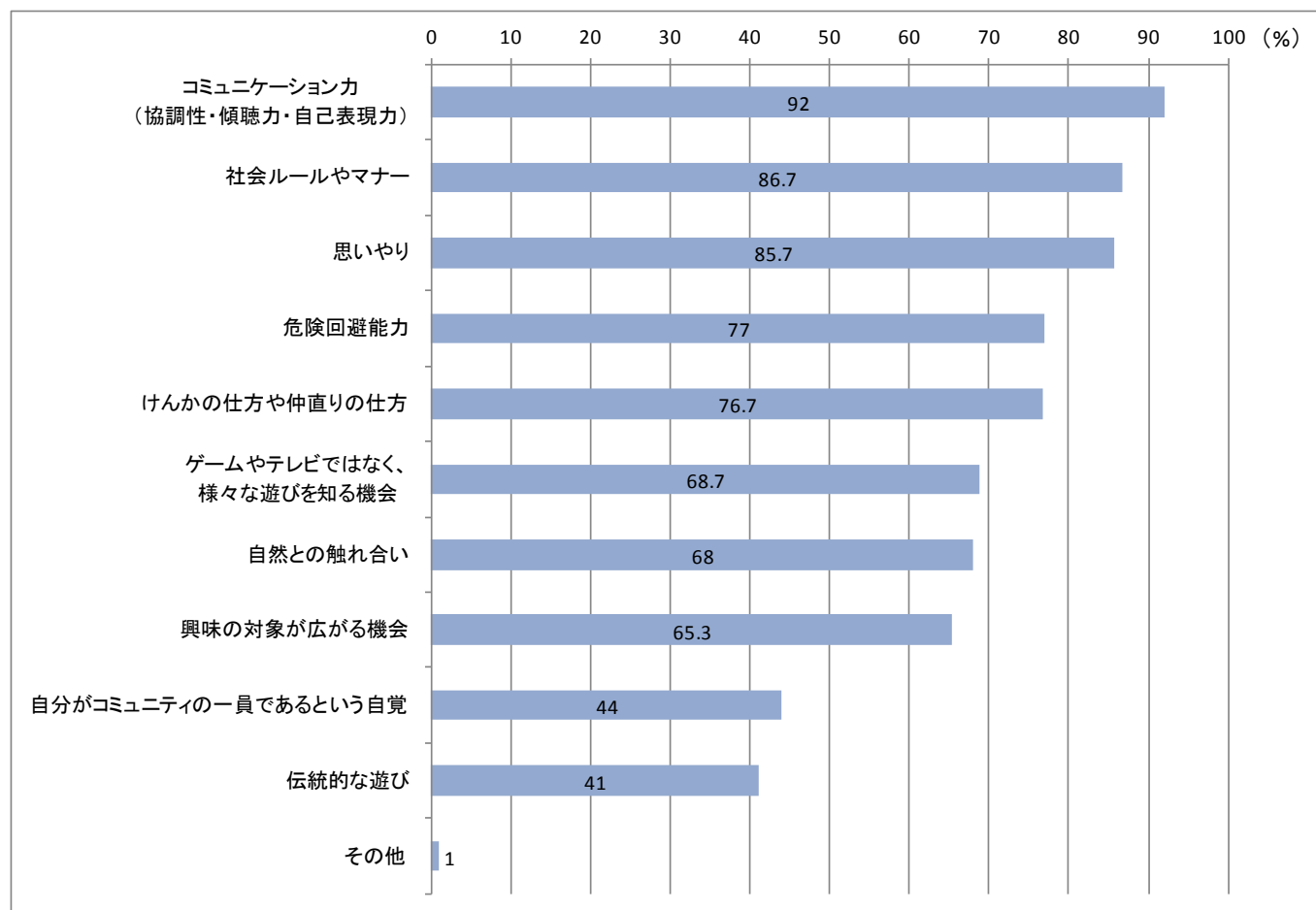
Q4.ご自身の子ども時代とあなたの長子のお子様の今を比べて、平日の放課後の過ごし方にはどのような違いがあると感じますか？



今と昔の、平日の放課後の過ごし方の違いを尋ねてみたところ、昔の方が多かったものは、「公園や神社の境内空き地などの自由に遊べるスペース」(85.0%)や「自然と触れ合える場所」(81.0%)、「自分で遊びを考えられる機会」(68.0%)でした。反対に今の方が多いものとしては、「ゲームやテレビなどで一人で過ごす時間」(55.0%)、「習い事の時間」(47.3%)が挙げられています。

子ども同士や大人とのコミュニケーションを通して子どもに学んで欲しいこと

Q5. 同年齢・異年齢の子どもまたは大人とのコミュニケーションを通して、お子様にどんなことを学んで欲しいと思いますか？(複数回答可)



コミュニケーションを通して子どもに学んで欲しいことを尋ねたところ、「コミュニケーション力(協調性・傾聴力・自己表現力)」「社会ルールやマナー」「思いやり」が上位に位置しています。

キッズベースキャンプについて

今回の調査では、母親の小学生時代と比べて「放課後を学童保育で過ごす」子どもが 31.3%増加していることが明らかになりました。小学生が放課後と長期休みに過ごす時間は年間約1,600時間で、学校で過ごす1,200時間を上回ります。「キッズベースキャンプ」は、「放課後の時間を“消費”から“投資へ”」をテーマに、学校でも家庭でもない子どもにとっての「サードプレイス」として、安全な放課後を提供し、遊びや学びの体験の中から“社会につながる人間力”を育むことを目指しています。また、民間ならではの充実したサービスで今後もワーキングマザーに寄り添い、多くの人が子育てを楽しめる社会の実現に貢献していきます。

本件に関する報道関係者のお問合せ先

■株式会社キッズベースキャンプ 広報担当: 三沢敦子

TEL: 03-5426-3123 / FAX: 03-3439-2266

E-mail: pr@kidsbasecamp.com

会社概要

- 社名 : 株式会社キッズベースキャンプ
- 代表者 : 代表取締役 島根太郎
- 設立 : 2008年9月1日
- 所在地 : 東京都世田谷区桜新町 2-10-12 ガレリア M202
- 資本金 : 46,750万円
- 株主 : 東京急行電鉄株式会社 100%
- 事業内容 : アフタースクール(民間学童保育事業)の経営
- ホームページ : <http://www.kidsbasecamp.com/>